

最優秀賞

情報科学専門学校 Team 「IPFactory」

=====

リーダー: 辻 眞一

昨年の夏も同コンテストに参加したのですがその際は5位タイと残念な結果に終わり、今年こそはライバルを倒してやる!という気持ちでコンテストの方に参加いたしました。

結果発表の際、2位に首都圏のライバル校が入賞し一位は私達ではないという気持ちの中優勝という発表を聞きとても興奮しました。

私だけでなく、チームメンバー全員が学校の勉強だけで満足せず自分たちで最新の技術を探し、実際に使ってみることで様々なシステムや技術のトラブルにも対応できる力を得ることができ、今回の結果があると思っています。しかし、最新の技術に触れるためにはまず基礎知識が不可欠であり、学校で勉強したからこそ色々なことにチャレンジができるようになったと思っています。

=====

メンバー: 日平 祐介

3回目の出場でやっと最優秀賞を得ることができました。

今回は情報科学専門学校のフルメンバーで参加することができたのでチームメンバーに感謝したいと思います。

またこのような素晴らしく、ためになり楽しいコンテストを開いてくださった運営の方にも感謝したいと思います。

ありがとうございました。

=====

メンバー: 渡部 昂平

私は、今回2回めの出場ですべて初めて出場した時と同様にネットワーク要員として参加しました。

初めて参加した時は自分に知識がなくいい結果を残せませんでした。今回は問題のレベルがとても上がっているにもかかわらず最優秀賞を取ることができて、最優秀賞を取れたのはチームみんなのお陰ですが、自分にも成長はあったなと感ずることができました。ありがとうございました。

=====

メンバー：山崎 輝人

僕自身は第四回以来二度目の出場でした。前回出場した際と比べ成長を実感できるような場面もありましたが、やはりまだまだ至らなかった場面も多かったです。そして正直優勝できたことを今ふりかっても信じられず、驚いているようなところもあります。

ただ、その中から優勝できた要因を上げるとすれば中心メンバーの四年生全員が、それぞれが四年間毎日コツコツと自分を信じて頑張ってきたことにあると思います。その努力がこのような形で報われたのだと思います。トラブルシューティングとはそんな日々の積み重ねが試される場であり、数日、数ヶ月仕込んだ程度の力では到底太刀打ち出来ません。そういった力が試される場で優勝できた先輩方を同じ学校の、同じサークルの後輩として誇らしく思います。

そんな四年生方がいない次回、若しくは来年度からは今の一年生を含めた新体制で望むことになり僕自身の本当の実力が試される場でもあります。僕もそんな先輩方を見習い毎日コツコツ積み重ね、良い報告ができるよう今から頑張ります。

最後に本大会を開催して頂いた運営の方々をはじめ多くのスポンサー企業の方々に感謝申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

=====

メンバー：斎藤 正樹

最優秀賞を獲得できたこととても嬉しく思っています。私は主にネットワークの問題に取り組んでいたのですが、意表を突かれることが多く、大変苦労しました。次回は参加するかは未定ですが、参加した際にはまた最優秀賞を狙えるよう技術を高めていきたいです。

優秀賞

日本工学院八王子専門学校

Team 「WCDI」

金澤直輝

第三回から参加していますが、毎回とても楽しませてもらっています。

今回はスコアサーバーや出題パターンの変更など、新要素がいくつかあって新鮮味がありました。

また、前回の反省を活かし上手くチームをまとめることが出来たように思います。

その甲斐もあってか、優秀賞をいただくことができ嬉しく思います。

次回も是非参加したいです。

大塚悠矢

今回のコンテストでは、問題のシナリオに沿わない解答を多く出してしまう、問題解決における私の視野の狭さ、考えの浅はかさを改めて痛感しました。そんな中でも、確かな技術力を持つ素晴らしい仲間達がいたからこそ、結果が残せたのだと思います。このチームで賞を頂けたことを本当に嬉しく思います。

新留一穂

優秀賞を頂けて嬉しく思っています。

自分は前回大会、今回大会で合わせて 2 回目の参加で、今回の問題を見ながら、正直「今回やべえな」と思っていました。

しかし、裏を見れば単純な問題だったりで、「ああ、トラコンだな」と思いながら楽しく解けました。

次回も是非、自身のレベルをもっと高めて参加します。ありがとうございました。

杉山希望

今大会 2 回目の参加で、ネットワーク問題を担当しました。
前回大会より自分の力を出すことができましたが、まだまだ一人では解決できない問題ばかりで実力不足を痛感しました。
今大会の反省点を活かし、さらなる技術の向上の為に学習を怠らず最優秀賞を目指したいと思います。

小野木雅博

この度は優秀賞を頂きましてありがとうございます。
初出場のコンテストで、驚いています。
出題された問題は私にとって難しいものが多かったのですが、問題の解決方法を考えているときに、一番楽しかったです。
また、同年代の学生と技術交流ができたことも嬉しかったです。
今回のコンテストでの経験を、今後に活かしていきたいと思います。

準優秀賞

信州大学 Team 「kstm (カスタム)」

代表 田中 篤志

前回のコンテストで要求されているレベルの高さを痛感し、知識や人員を整えて今回に臨みました。

前回手を焼いたネットワーク問題に対処する人員を確保しての 1 日目、壁は高く手応えがあまり感じられず、甲子園の砂ムード漂う中、宿にて某 B 級映画を見たのはいい思い出です。

続く 2 日目も戦況は芳しく無く、ただただ必死にもがいた結果を提出フォームにぶち込むのが精一杯でした。とは言え、三位入賞を勝ち取ることができ、振り返ってみれば、まだまだ弱点とも言える低レイヤ間にも食って

掛かるだけの経験を日々の活動で獲得できていたかなと感じました。

次回開催時には、得意なサーバー問題を確実に苦手なネットワーク問題の対策を積み、トラブルシューティングできたという実感を得られるよう、より上の順位を目指したいと思います。

最後になりますが、大会の運営に関わった方々、このような場をご提供頂き、本当に有り難うございました。